

9月定例会

平成25年第4回定例会を9月5日から26日までの22日間の会期で開催しました。
この定例会では、市長から提出された「平成25年度一般会計補正予算（第1号）」など31件の議案を審議しました。

いばらき

市

議

会

だより

No.205

平成25年(2013年)11月1日

編集 / 議会広報委員会 発行 / 茨木市議会
電話 (072) 620-1670 FAX (072) 623-7591
<http://www.city.ibaraki.osaka.jp/shisei/gikai/>

目次

一般会計補正予算質疑	2
議会のうごき	3
一般会計決算特別委員会質疑	6
一般会計決算討論	8
9月定例会議決結果	9



初の

議会報告会を開催します

市議会では、開かれた議会をめざし、初めての議会報告会を開催します。「議会のしくみ」や「議会改革の取り組み」などについてご報告します。

日時 平成25年(2013年)11月13日(水)
午後7時～9時 ※午後6時30分開場

場所 福祉文化会館3階302号室
(定員100人先着順、事前申込不要)



詳細は4ページをご参照ください。

一般会計補正予算質疑

一般会計補正予算質疑を9月5日と6日の2日間にわたり行いました。

主な質疑内容は次のとおりですが、誌面の都合上、質疑の一部しか掲載できません。詳しい内容は、南館1階情報ルーム及び各図書館に設置している会議録をご覧ください。

また、市議会ホームページでもご覧いただけます。(いずれも11月中旬予定)



民主みらい

中村 信彦

隠れキリシタンの里の保全を

問 新名神高速道路の整備が進む千提寺地区で、キリシタン墓などが発見されたが、どのように保存するのか。また、整備に当たっては、その地域に自生していた樹木の苗を植樹するなど、自然環境再生に配慮しながら隠れキリシタンの里の保全に努めるべきではないか。

答 今回発見されたキリシタン墓などについては、現状保存が困難



キリシタン遺物史料館（大字千提寺）

なため、地形模型の製作等を検討している。また、施工主に対しては、隠れキリシタンの里である千提寺の風情や

景観を損わないよう要請しており、今後、自生していた植物等を利用するなど、環境への配慮についても要請していく。

維新の会・みんなの茨木

中井 高英

全児童・生徒対象の学力調査を

問 小学校6年生と中学校3年生を対象に行われる全国学力・学習状況調査について、本市は、どのような結果であったのか。また、子どものそれぞれの成長に伴う変化を把握するために、対象学年を絞らず、全児童・生徒を対象とはどうか。

答 学力・学習状況調査の結果については、小・中学校ともに全国平均を上回り、以前の調査よりも正答率が大きく向上した。また、この調査は、文部科学省作成の実施要領に基づいて、一律に実施されるため、全児童・生徒を対象とすることは困難である。今後、この調査の結果を活用するとともに、定期考査等から学習状況を把握し、授業改善に役立てていく。

歯科健診項目の追加を

問 現代の子どものあごは、発達が不十分で、ほおづえなどの姿勢をとっていると、あごにずれが生じ、顔面が非対称となり、日常生活に支障

を来してしまうことがあるが、予防の観点からも歯科健診に顔面非対称の項目を加えてはどうか。

答 歯科健診は文部科学省監修の「児童生徒の健康診断マニュアル」に従い、実施しているところであり、顔の左右のバランス、開口状態などを観察し、発達段階に則した歯及び口腔の発育状態を把握している。また、口腔の機能も発達に影響を及ぼしていないか、生活に支障を来していないか等、歯科医学的に判断している状況である。



日本共産党

畑中 剛

待機児童の解消を

問 平成25年度当初の保育所待機児童数は、実質190人と北摂の中でワースト1となっているが、なぜこれほどまでに深刻化しているのか。また、

議会のうごき

7月

- 10日 議会改革推進委員会
- 12日 議会広報委員会
- 23日 議会基本条例研修会
北部丘陵開発対策特別委員会
- 29日 安威川ダム対策特別委員会

8月

- 27日 議会広報委員会
議員研修会
- 28日 議会改革推進委員会
- 30日 幹事長会
議会運営委員会

9月

- 5日 本会議（初日）
- 6日 本会議（2日目）
- 9日 民生常任委員会
文教常任委員会
- 10日 民生常任委員会
- 11日 建設常任委員会
総務常任委員会
- 12日 建設常任委員会
- 13日 一般会計決算特別委員会
- 17日 一般会計決算特別委員会
議会改革推進委員会
- 18日 一般会計決算特別委員会
- 19日 一般会計決算特別委員会
- 24日 幹事長会
議会運営委員会
- 26日 議会運営委員会
本会議（最終日）
議会改革推進委員会

問

ゲリラ豪雨時のピークカットの手段として、各家庭で雨水を貯

ゲリラ豪雨対策を

公明党

大村 卓司

答 待機児童数が深刻化したのは、経済情勢の低迷や、女性の社会進出の増加等による保育ニーズの高まりが原因と思われる。その解消のために、認可保育所の創設や増築に取り組みとともに、民間保育所の整備や定員の弾力化など、積極的な解消施策を実施していく。



大字桑原付近の調整池

答

一般家庭向けに行っている雨水貯留タンクの設置補助金をさらにPRすることや、集合住宅など大型施設の建設時に、開発者に対して大型の雨水貯留施設の設置を義務づけるなど、積極的な雨水対策が必要ではないか。

く周知するとともに、開発者に対しては、一定規模の開発を行う際に、雨水貯留施設として調整池の設置を義務づける条例を来年度中に制定する予定である。

自由民主党・絆

福丸 孝之

施設管理に全庁的な取り組みを

問

市有施設の維持管理については、建物の老朽化や設備の劣化等による改修費用等を勘案すると、中長期的な視点を持った管理が必要ではないか。また、維持管理については、施設所管課だけでなく、全庁的に取り組むべきではないか。

答

市有施設の管理には、中長期的な視点を持ち、効率的で予防保全的な改修を行うことが重要と考えている。また、施設所管課や建築、企画、財政等の部署による検討組織を設置し、その中に教育委員会の所管課も入って、全庁的に検討を進めていくと考えている。



公明党

篠原 一代

生活困窮者への支援は

問

生活保護には至らないが厳しい生活をしている生活困窮者に対して、庁内に伴走型のワンストップ総合相談窓口の設置や地域の相談窓口の連携、生活困窮家庭に育つ子どもの学習支援など根本的な解決につながる支援をしてはどうか。

答

生活困窮者の状況を早期に把握し、ニーズに応じた支援をするものとして、自立支援プログラムの策定や医療扶助費を適正化する「かかりつけ薬局」制度、相談窓口の庁内設置、生活困窮家庭に育つ子どもの貧困連鎖を断ち切るための施策など、包括的な支援について検討していく。

民主みらい

安孫子 浩子

高齢者施策の方向性は

問

時代にあった高齢者施策として、市は6つの老人福祉センターを廃止して、今後、整備を進めていく街かどデイハウスにその役割を移行するとしているが、再構築に取り組む理念と方向性は何か。

答

弱者としての高齢者施策ではなく、元気で意欲のある方には積極的に社会参加してもらえよう、老人福祉センターのあり方を含め、再構築していく。街かどデイハウスについては、より身近な地域高齢者の居場所や福祉活動の拠点として、32小学校区ごとを基本に、当面20か所に拡充し、整備していきたい。



自由民主党・絆

下野 巖

路上喫煙防止への取り組みを

問

路上喫煙防止については、平成21年の条例施行後、さまざまな取り組みを行っているが、JR茨木駅東口では、たばこの吸い殻などが多く見られる。今回、同駅東口駅前広場が整備されるが、路上喫煙防止策として、喫煙場所を設置してはどうか。

答

今回のJR茨木駅東口駅前広場整備の中では、喫煙場所の設置計画はないが、喫煙マナーが守られるよう、駅前周辺で喫煙場所を設置でき



議会報告会を開催します

茨木市議会基本条例に基づき、初めての議会報告会を行います。議会は何をしているのか、どんなことを議論しているのか等をご報告します。

みなさまのご質問・ご意見をお聞かせください。

開かれた議会をめざしてまいりますので、ぜひご参加ください。

日時:平成25年(2013年)11月13日(水)
午後7時~9時(開場 午後6時30分)

場所:福祉文化会館 3階302号室
(定員100人 先着順、事前申込不要)

内容:議会のしくみ、議会改革の取り組み、定例会報告等
託児:小学3年生までの一時保育を希望される方は、11月6日(水)までに市議会事務局までお申し込みください。(有料:1時間あたり100円)

駐車場(有料):お車でお越しの際は、市役所駐車場及び周辺駐車場をご利用ください。

問合せ:市議会事務局総務課

電話(072)620-1670・FAX(072)623-7591

✉gikaisomu@city.ibaraki.lg.jp

茨木市民フォーラム

小林 美智子

職員や市民に市政顧問の周知を

問

市の重要施策を迅速かつ適正に推進し、市政の円滑な運営を図ることを目的に設置された市政顧問

ないか検討するとともに、引き続き、喫煙者のマナー向上のための活動を行っていく。

は、専門的立場から助言をいたいただくための有効な制度と考える。この制度を活用するために、職員への周知や市民への広報について、どのように考えているのか。

答 現在、11人の市政顧問を委嘱しているが、職員に対して、顧問の担当分野を周知することを目的に、顧問との意見交換会を開催しており、顧問の積極的な活用により、行政課題の早期解決を図っていく。また、市民に対しては、広報誌等を利用して、顧問の情報等について周知していきたいと考えている。

公明党
坂口 康博

小・中学校のトイレ改修を

問 学校のトイレを和式から洋式へ変更することや温水洗浄便座、手洗いの自動水栓の導入、便器等の尿石除去にプロの特殊清掃を行うなど、トイレを清潔に保つとともに、子どもの快適な居場所となるよう改修してはどうか。

答 は、洋式便器が少ない学校について、早期改修に取り組むとともに、小便器の自動洗浄、手洗いの自動水栓化、温水洗浄便座の設置を進めていきたい。また、児童等が使いやすい快適な環境となるよう、デザイン性や

機能性を考慮したトイレを整備していく。

自由民主党・絆
中内 清孝

耳原地区内の道路整備を

問 平成24年3月に大阪府から、耳原地区内の都市計画道路を廃止するとの通知があった。同地区の中央部には、対面通行できる道路がなく、安全面や防災面に課題があるので、市決定の都市計画道路もしくは拡幅整備してはどうか。

答 都市計画道路は、その道路沿線の住民に権利制限がかかったり、用地買収に多額の費用を要するため、市の道路事業として進めることは適切ではないと考える。今後、耳原地区中央部の道路が一方通行であること等の事情も勘案し、交通安全対策について検討していきたい。

維新の会・みんなの茨木
塚 理

図書館運営の転換を

問 これまで図書館は、本を読むことや知識を広める場所とされてきたが、本の貸し出しを中心とした図書館ではなく、市民の交流やコミュニ

ティ形成の場として転換していったらどうか。また、市立図書館の独自性が求められているが、市のめざす図書館の姿やビジョンは何が。

答 市立図書館を地域の情報拠点として、市民参加の促進や地域の実情に即した運営を行うなど、地域が活性化されるよう、効果的な運営に努めていく。また、すべての年齢層の方に来館してもらえるよう、指定管理者制度など民間活力の研究を含め、市民の暮らしに役立つ魅力ある図書館をめざしていく。



中央図書館（畑田町）

総額 8.7 億円の 25 年度補正予算を可決

平成 25 年度大阪府茨木市一般会計補正予算（第 1 号）が9月定例会で可決されました。歳入歳出予算の総額に、それぞれ 872,675 千円を追加し、82,322,675 千円となりました。その主な内容は下記のとおりです。



子育て

待機児童保育室の整備（学園町）など …154,598 千円

まちづくり

JR 茨木駅東口 駅前広場の整備など ……335,300 千円

教育

小学校のエレベータ設置など ……………178,360 千円

雇用

パイオ・サイエンス関連企業への雇用支援など …… 39,729 千円

だ市
よ議
り会

一般会計決算特別委員会

一般会計決算特別委員会は、委員長に坂口康博委員（公明党）を選任し、9月13日・17日・18日に関係書類の審査を行ったのち、19日に質疑を行いました。その結果、9月26日の本会議で認定しました。

ここでは、一般会計決算特別委員会での主な質疑応答の要旨を掲載しています。



委員会での関係書類審査風景

福祉充実のための行財政運営を

日本共産党

朝田 充

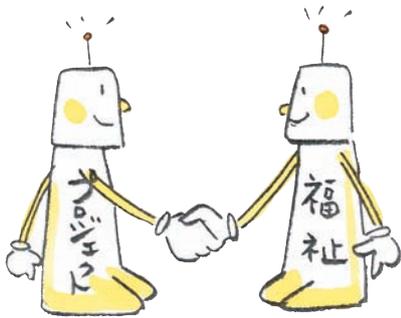
魅力あるまちづくりに向けた主要プロジェクトの推進は、両立していくべきものであり、バランスよく施策を展開していく必要があると考えている。

問

大規模プロジェクトに備えた積立金は年々増加し、財政調整基金の取り崩しもしていない中で、事業債の発行額も減少している。黒字圧縮で生まれた財源は、できる限り次年度に繰り越し、福祉充実のための施策を積極的に展開すべきではないか。

答

現在暮らしている市民の福祉施策の充実と、将来世代に対する



維新の会・みんなの茨木

長谷川 浩

市関係団体の駐車場料金免除を

問

市の会議等のために、公共施設附帯駐車場を利用した場合、審議会委員は駐車場料金が免除となるが、それ以外の団体は免除とならない。市が会議等で招集した場合は、駐車場料金を免除すべきではないか。

答

駐車場料金免除については、負担と利用の公平性の観点から、今年度から審議会への出席等に限り、免除としている。他の団体も免除とすることについては、担当課によって判断にはらつきが出ないよう、一定の調整をしながら検討していきたい。

公明党

青木 順子

消費生活相談と啓発の拡充を

問

情報化社会では、消費生活におけるさまざまな場面で、正しく安全な選択が求められ、子どもたちを取り巻く環境もまた日々変化しているが、学校現場ではどのような消費者教育が行われているのか。また、今後の進むべき方向性や計画の策定について、どのように考えるか。

答

学校の消費者教育は、学習指導要領により、一般的な啓発事業は消費生活センターが行ってきたが、幼児期から高齢期まで、総合的かつ一体的な教育が必要であるため、教育委員会や高齢福祉部門など、あらゆる部門との連携を模索しながら推進していく。

小児救急への取り組みは

問

小児初期救急医療体制の広域化により、来年3月で保健医療センターでの小児救急診療が廃止となるが、子育て支援と子どもに優しい茨木市をめざして、どのような取り組みを考えているのか。また、小児救急電話相談#8000番とはどのようなものか。

答

既に始まっている広域化した小児初期救急の運営にあたって、



多くの相談者が訪れる消費生活センター

医師会や小児科医と定期的な連絡会を開催している。また、#8000番とは、大阪府が開設している小児救急専用の相談窓口で、夜8時から翌朝8時まで、小児科医の支援のもと、看護師と保健師が相談に心じている。

維新の会・みんなの茨木
中井 高英

医療扶助の適正受給を

問

生活保護に係る医療扶助については、本市の一人当たりの扶助額はいくらか。また、過剰請求や、転売目的での薬の処方などの不正受給に対して、どのような対策をしているのか。

答

一人当たりの扶助額は、約84万円となっている。なお、不正受給等については、生活保護健康管理支援事業の中で、医療費の削減に努めるとともに、電子レセプトシステムを導入し、医療費助成の厳正な審査を行っている。

自由民主党・絆
上田 光夫

現在の雇用形態への見解は

問

本市の人件費は、北摂7市の中で最も低い。その理由は何か。

また、地方自治体において、非正規職員が増加していることなど、現在の雇用形態について、どのように考えているのか。

答

人件費が低い理由については、職員数と給与水準を抑えているためである。また、非正規職員の増加については、人件費を抑制できたという面もあるが、正規職員と比較し、その処遇を含め、経常収支を考慮しながら、思い切った改革が必要ではないかと考えている。

自由民主党・絆
中内 清孝

観光資源発掘のための支援を

問

本市の観光振興の中で、観光協会に対する補助金の内訳は、どのようなになっているか。また、藤原鎌足公にゆかりのある阿為神社で毎年「蹴鞠の会」が開催されているが、観光資源の発掘という観点から、どのような支援ができるか。

答

観光協会への補助金の内訳は、運営補助として470万円、事業補助として430万円となっている。また、阿為神社の「蹴鞠の会」は、本市と藤原鎌足公にゆかりがあることから、広報誌等で周知し、観光協会では、蹴鞠の会の日程にあわせ、観光ウォークを開催するなどの支援をしている。

茨木市民フォーラム
桂 睦子

プライマリーバランスの状況は

問

財政指標の一つとして、プライマリーバランスの導入が必要と考えるが、プライマリーバランスの算出方法と平成22年度から24年度における数値は、どのような状況であるのか。

答

プライマリーバランスは、歳入全体から市債借入額を引いたものと、歳出全体から公債費、償還金を引いたものを比較する財政指標である。その状況は、すべての起債額から見ると、22年度は28.5億円、23年度は5.5億円、24年度は19.7億円で、いずれも赤字である。

民主みらい
中村 信彦

ケースワーカーの充実を

問

生活保護受給世帯が増加している中、平成24年度は市のケースワーカーを一人も増員していない。就労支援など、ケースワーカーの負担は非常に重くなっているため、必要な人員を配

置するべきではないか。

答

国の基準では、ケースワーカー1人当たり80の生活保護受給世帯を担当することとされているが、本市では113世帯となっており、負担が重くなっていることは認識している。今後、就労支援やさまざまな相談に対応できるよう、ケースワーカーの充実を図っていききたい。

平成24年度各会計別歳入歳出決算額

(単位：円)

会計区分	歳入決算額	歳出決算額	差引	
一般会計	81,802,864,650	80,051,023,921	1,751,840,729	
特別会計	財産区会計	5,647,838,144	167,165,752	5,480,672,392
	国民健康保険事業会計	27,148,257,904	27,018,972,833	129,285,071
	後期高齢者医療事業会計	2,990,564,675	2,881,572,100	108,992,575
	介護保険事業会計	13,467,215,767	13,245,595,435	221,620,332
	公共下水道事業会計	7,718,013,475	7,671,416,505	46,596,970
合計	138,774,754,615	131,035,746,546	7,739,008,069	
水道事業会計 (収益的収支)	4,868,642,854	5,020,225,327	△151,582,473	

請 願

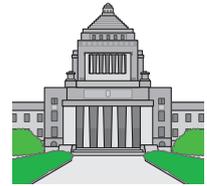
9月定例会に提出された請願は、民生常任委員会の審査を経て、9月26日の本会議で採決の結果、次のとおり決定しました。

- ◆請願第2号
待機児童解消方針「緊急一時保育事業」に関することについて …………… 【不採択】
 - ◆請願第3号
待機児童解消方針「緊急一時保育事業」に関することについて …………… 【不採択】
 - ◆請願第4号
待機児童解消方針「緊急一時保育事業」に関することについて …………… 【不採択】
- ※3件の請願については、請願提出者等が異なります。詳細については、市役所1階情報ルームに設置しております。

可決された意見書

9月定例会で可決された意見書を関係機関に送付しました。

- 地方税財源の充実確保を求める意見書 …………… 【原案可決】
- 福島第一原発事故による放射性汚染水漏れと事故の収束を
最優先して取り組むよう求める意見書 …………… 【原案可決】
- 若い世代が安心して就労できる環境等の整備を求める意見書 …………… 【原案可決】
- 過労死防止対策を求める意見書 …………… 【原案可決】



一般会計決算討論

9月26日の本会議において賛成者多数で認定した「平成24年度一般会計決算」に対する討論の要旨は、本欄のとおりです。

賛成【公明党】

賛成する理由は、第一に、「安全で安心して健やかに暮らせるまち」の創造について、子育て支援策や母子保健など福祉健康施策の充実に取り組みましたこと。小・中学校校舎の耐震化や、いじめ防止プロジェクトなど、児童生徒の安全と快適な教育環境に向けて取り組みましたこと。東日本大震災の教訓を生かした災害対策を着実に推進されたこと。市民との協働のまちづくりをめざし、地域活動の活性化に取り組みましたこと。

第二に「将来の発展を見据えた活力あるまち」の創造について、安全性と快適さを兼ね備えた魅力あるまちの実現に向け都市基盤整備に取り組みましたこと。産業アキションプランの推進など市内産業の振興と活性化に取り組みましたこと。

以上の理由から、本決算に賛成する。

反対【日本共産党】

反対する理由は、第一に、大規模プロジェクトの財源づくりのために、市民犠牲の強行と市民要求抑制型の極端な財政運営が、引き続き行われてきたこと。

第二に、本市の行財政運営に多大な影響を与える彩都開発や安威川ダム建設等の関連公共事業の見直しもなされず、漫然と進められたこと。

第三に、解同優遇行政が是正されたとはいえ、依然として温存されていること。

第四に、さらなる指定管理者制度の導入、公立保育所民営化や学校給食調理員の民間委託、三島公民館のコミュニケーションセンター化など、一層の市民犠牲を推進したこと。

第五に、続発する職員の不祥事に何ら有効な手立てが打てなかったこと。

以上の理由から、本決算に反対する。

